

担当センター名		九州地方ESD活動支援センター
プロジェクトのテーマ		中学校におけるSDGsを活用したキャリア教育
プロジェクト期間		2021年度～2022年度（2ケ年）
達成目標		一般的な公立中学校におけるSDGsの視点を取り入れたキャリア教育カリキュラム（あまり大げさなものではなく、取り組みやすさに視点をおいたもの）の構築
コアメンバー (団体・個人)		熊本市立城南中学校 熊本市教育委員会 地域コーディネーター 岡 裕二 氏 福岡教育大学 教授 石丸 哲史 氏 熊本大学教育学部 教授 宮瀬 美津子 氏 九州地方ESD活動支援センター
実施内容	勉強会①	【実施日】4月26日（月） 【参加者】11名 城南中学校各学年担当教員、岡 氏、九州地方環境事務所、九州センター 【内 容】関係者打合せの実施（クローズ）
	勉強会②	【実施日】5月14日（金） 【参加者】25名 城南中学校全教員、岡 氏、九州センター 【内容】職員研修の実施（クローズ）
	勉強会③	【実施日】7月30日（金） 【参加者】12名 小・中学校教員、熊本市教育委員会、地域ESD拠点（公益財団法人京都市環境保全活動推進協会、一般財団法人沖縄県公衆衛生協会、NPO法人エコプランふくい、勝山市）、岡 氏（地域コーディネーター）、石丸教授（福岡教育大学）、宮瀬教授（熊本大学）、九州センター 【内 容】関係者、ESD拠点の顔合わせ、参加拠点打合せ会議（オープン、オンライン）
	勉強会④	【実施日】10月21日（木） 【参加者】5名 城南中学校1、2年生担当教員、岡 氏、九州センター 【内容】今年度のSDGs学習について（コロナ対応を含む代替企画づくり）、学年に応じた2カ年半のカリキュラム化について
	勉強会⑤	【実施日】※年度内に予定 【参加者】城南中学校担当教員、岡 氏、九州センター 【内 容】次年度のカリキュラムについて
	実践活動①	【実施日】5月19日（水）、25日（火） 【参加者】城南中学校全校生徒 1年生：122名、2年生：140名、3年生：140名 【内 容】全校生徒を対象としたSDGs研修 50分×2コマ×2週（4時限授業）
	実践活動②	【実施日】8月30日（金） 【参加者】対面：30名、オンライン：37名 城南中学校教員、他校小・中学校教員、熊本市教育委員会、地域ESD拠点（公益財団法人京都市環境保全活動推進協会、一般財団法人沖縄県公衆衛生協会、NPO法人エコプランふくい、勝山市、一般社団法人環不知火プランニング、名古屋ユネスコ協会、室戸ジオパーク推進協議会、公益財団法人肥後の水とみどりの愛護基金）、岡 氏（地域コーディネーター）、石丸教授（福岡教育大学）、宮瀬教授（熊本大学）、九州地方環境事務所、九州センター 【内 容】『SDGsを活用したカリキュラム研修』（オープン、オンライン） ・主旨説明：ESDセンターの紹介、ESDセミナーの説明 ・基調講演 福岡教育大学 教授 石丸 哲史 氏 ・取組紹介 熊本市立城南中学校 教諭 厚地 高行 氏 地域コーディネーター 岡 裕二 氏 ・意見交換 進行（コーディネーター） 石丸 哲史 氏 ・指導助言 熊本大学教育学部 教授 宮瀬 美津子 氏
成果	目標達成度	60%
	プロジェクト関係者(コアメンバー、その他の参加者、実践活動の対象者)の変容	・実践・勉強会をとおして、中学校内におけるキャリア学習・カリキュラムが重視されるようになった ・学年ごとの主担当者が、カリキュラムを意識して総合・キャリア学習を主体的に企画（仕事新聞づくり、SDGsゴール学習など）し、SDGsの関連付けを行うようになった。 ・既存の学習活動（職業体験や修学旅行など）とSDGsの関連付けも行われるようになった。 ・3ケ年のスパンを視野に、1学年後半～3学年前半にかけてのカリキュラムイメージをもとに、学習の流れ・デザイン素案が検討され、学年間の引継ぎ準備にも着手された。

今後の課題		<ul style="list-style-type: none">・本プロジェクトは2ヶ年事業として、SDGsを活用したキャリア教育のカリキュラム化を目指しており、次年度は中学校各学年の取り組みが段階的に発展するカリキュラムの全体像を構築する。・2年目については、進級・新学期における生徒の発達、教員の異動等の移行期を織り込みながらスムーズに繋げていく点に特に意識して取り組む。・また実践・勉強会においても、キャリア教育のみならず、各教科におけるSDGs活用にも応用される学びの場として展開したい。・取り組みにあたっては、専門機関や地域ESD拠点等との協働を深めていきたい。
-------	--	---